



きたごう 北郷 議員
みちひろ 伯弘

新たな海外派遣事業の展開については、事業内容並びに世界の社会情勢等を勘案しながら検討していきます。

英語で広野町の歴史と文化及び小中学生の広野町に対する思いを発信できるよう取り組んでいきます。

北郷：インバウンドの増加によりグローバル教育の必要性が求められています。

今後の展望は？

教育長／事業内容等を勘案して検討

外国語教育

教育長：本町のグローバル教育の推進については、外国語指導助手ALTの活用、「東日本国際大学留学生との交流グローバル・デイ」、小学5年生から中学2年生までのブリティッシュヒルズでの異文化交流宿泊体験活動などを行っています。



広野中学校グローバル・デイの様子

当町農業委員会では、本年7月に静岡県農林技術研究所にみかんの栽培管理について、調査研修を行っています。

町長：民間で「みかんジュース」、「みかんサイダー」を製品開発しているほか、岩手県葛巻町と令和5年に締結した「特産品振興・観光交流に関する協定」に基づき、「みかんワイン」の開発に取り組んでおり、令和7年度試作品の完成を予定しています。

北郷：「東北に春を告げる町ひろの」をアピールできるような新たなみかんを活用した特産品の開発をどのように考えているのか伺います。

特産品の開発は？

町長／みかんワインなど開発中

みかん

認定農業者協議会では、みかんの特産品開発の展望を協議しています。

認定NPO法人環境リレーションズ研究所と、森林再生・復興への取り組みのプレゼンとして、二ツ沼総合公園内に約70本の「みかんの木」の植樹の協議を進めています。

みかんの生産量を確保すること、みかん栽培に意欲がある農業者への支援について検討し、みかんを捉えた特産品の開発を展望していきます。

一般質問

7人の議員が町政を問う



一般質問は、行政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、説明を求めたり、所信を問いたすものです。

北郷 伯弘

- 教育、東京大学等学術研究機関での海外交流の展開に向けて
- みかんを活用した特産品の産業化への支援体制について

P13

西内 玄太

- 第35回広野町民号に係る事業実施手続きについて
- 募金の集金について
- 職員に対するハラスメントの防止について

P14

渡邊 忠義

- 童謡のまちのメロディーロードの提案について
- 小中学生の「学力低下」が確認されたとの新聞報道について

P15

遠藤 浩

- 津波警報の対応について

P16

門馬まりえ

- 健康づくりの推進について
- 生活再建について

P17

高木 光雄

- 広野駅東側開発事業区域の賃貸借契約について
- 町内立地の火力発電所の現状について
- 講演の実績について

P18

西本 久雄

- 町内公園等における維持管理の現状と今後の改善方策について
- 盛土工事における安全管理と防災対策について
- 町民に示すべき町の将来に向けた町政の方針と施策の展開について

P19